

24. コンクリート打設における上層部及び下層部の透水性について

日本セメント株式会社 研究所

中 條 金 兵 衛

○ 正 蔵 実

(要旨)

コンクリートの透水試験の結果は、実際の構造物と一致しない事が多い。場内一般に行われている小型供試体は非常に透水し難いが、実際の構造物では可成りの透水をする事が有る。

此の相違は龜裂、打継ぎ、コンクリート内部の空隙、水隙等に起因するものと思われる。

そこで我々は主として材料分離に依る水隙に着目し、コンクリートの如何なる部分に實際に水が通るかを調べた。

茲、高さ60 cm.のコンクリートの上層部及び下層部を切斷し、これらの部分について透水試験を行った。

以上の結果、コンクリートの極く一部を•多くの水が透過する事、又上層部は

下層部に比較し非常に透水性が多い事が解った。

他にセメントの種類を変へ、A E 灰の添加に依る相違等を測定した。

25. 梯子桁の計算並びに柱状について

龍谷大学工学部土木教室 星 治 雄

(要旨)

箱桁橋梁を梯子桁として解くにあたり、その一計算法を提示し、二、三の柱状を検討したのである。